

生徒指導部会

学校指定品についての検討経過

検討の経過

(1)学校指定品について検討

①制服の制定について検討

○部会での情報収集

- ・猪名川中学校に於いて実施されていた制服展示会に参加し、制服についての新しい情報を集めた。

○小学校における学習について

- ・大島小学校、楊津小学校、松尾台小学校の5年生を対象に制服についての学習会を実施した。
- ・PTA 役員より、小学校でも制服の展示会を開いて欲しいという要望を受け、3小学校の学習会に合わせて展示会を実施した。

○保護者、生徒、教職員からの制服アンケートの結果について

- ・保護者、生徒、教職員ともに、制服が必要、あった方が良いという回答が約80%となっている。
- ・中谷中学校及び六瀬中学校の生徒会が主体的にアンケートを実施し、生徒会としても「制服が必要」という意見をまとめている。

○制服についての意見調査や学習会での情報をもとに協議し、生徒指導部会として制服を制定するという方向を決定した。

②体操服の制定について検討

○保護者、生徒、教職員からの体操服アンケートの結果について

- ・保護者、生徒、教職員ともに、体操服を指定した方が良いという回答が多く、約70%～90%となっている。
- ・中谷中学校及び六瀬中学校の生徒会が体操服についても主体的にアンケートを実施し、生徒会としても「指定の体操服が必要である」という意見をまとめている。

○体操服についての意見調査や学習会での情報をもとに協議し、生徒指導部会として体操服を指定するという方向を決定した。

③制服制定のスケジュールについて検討

新設校制服制定スケジュール案

時 期	検 討 内 容	
基本方針 検討	令和2年 7月～10月	①情報収集（学習会など）
		②新設校にふさわしい方向性の検討
		③制服メーカー選定方法の決定
		④販売店、メーカーへの通達
プレゼン テーション	令和2年 11月～12月	①制服メーカー選定（プレゼンテーション実施）
		②制服メーカーの決定
		③参加メーカーへの結果通達

デザイン 検討期	令和3年 1月～5月	①素材選定（色、機能性、ストレッチ、撥水、耐久性など）
		②細部検討（刺繍等、オプションアイテム、細部仕様など）
		③最終サンプルによる総合検討 （最終デザイン、仕様の確認価格の検討など）
プロモー ション	令和3年 6月頃	①新制服の発表 （参観、懇談会、オープンスクールなどで展示説明）
規定作成期 納品販売期	令和3年7月 ～ 令和4年4月	①制服メーカーとの契約
		②販売指定店の選考
		③販売/受注に関する検討 （受注・納品の方法や時期、採寸、アフターフォロー確認など）
		④採寸
		⑤納品

④制服メーカー選定の方法と時期について検討

- 生徒指導部会としては複数メーカーによるプレゼンテーションで選定する方向で決定。
- 時期は完成までのスケジュールから考えて11月中に実施する方向で考える。

⑤メーカーの選定基準について検討

生徒指導部会として次の基準でメーカーを選考することを決定

- 動きやすさ・着心地の良さ（設計・素材・消臭）
- 洗濯耐久性について（破れにくい縫製、しわの回復）
- 成長対応仕様（丈夫さ）
- LGBTQにしっかり対応できているか（兄弟姉妹への対応等も含む）
- 多様性への対応（敏感肌、身体的特性への対応）

- 経済性（価格、兄弟姉妹等への対応、洗濯耐久性も含む）
- 担当者の対応力・交渉力

学校指定品について、全体会で確認と決定する内容

(1)制服の制定及び体操服の指定について

- ①新設校の制服を制定する。
- ②新設校の体操服は指定とする。

体操服のメーカーについては学校と生徒指導部会で選定する。

(2)制服選定のスケジュールについて

- ①生徒指導部会で検討した案をもとにすすめていく。

(3)制服メーカーの選定について

- ①制服メーカーは、複数メーカーのプレゼンテーションで選定する
- ②プレゼンテーションは基準を設定し、生徒指導部会で選考する。
- ③メーカー選定の基準は、生徒指導部会で検討した7項目とする。
- ③プレゼンテーションは令和2年11月中に実施する。

選考結果は12月の準備員会に報告する。